

東京大学 大学院新領域創成科学研究科  
メディカル情報生命専攻 2021年度入試・A日程  
情報生命科学群  
オンライン口述試験受験準備について

メディカル情報生命専攻・情報生命科学群  
入試委員会

1. はじめに

本受験案内では2020年8月11～13日に実施されるメディカル情報生命専攻のA日程入学者選抜試験における試験の実施日時や受験方法、事前に必要な準備や機材などについて説明します。

2. 接続試験および口述試験の実施日程

オンライン口述試験はビデオ会議ソフトウェア Zoom を用いてインターネット経由で行われます。オンライン口述試験に必要な環境が整っていることを事前に確認するために、すべての受験生は事前にオンライン接続試験を受けて頂く必要があります。オンライン接続試験に現れなかった受験生はオンライン口述試験の受験資格を失いますので、期間中に必ずオンライン接続試験を行ってください。Zoom の利用方法に習熟し、全ての機材・環境が適切に整っている受験生の場合に想定されるオンライン接続試験の所要時間は5分程度です。オンライン接続試験は3日間に分けて行われますが、指定された時間の中で自由に時間を選び接続試験を行うことができます。別途メールで送付する URL に、自分で選んだ時間に Zoom で接続してください。接続した後は Zoom 接続による担当者の指示に従って下さい。また、トラブルがあった場合には2回目以降の接続試験をお願いすることがあります。

8月	4日	オンライン接続試験	
		11:00～11:30	810001～810010 の受験生
		11:30～12:30	410001～410015 の受験生
		13:30～14:30	410016～410030 の受験生
		14:30～15:00	410031～410037 の受験生
8月	5日	オンライン接続試験	
		10:00～12:30	410021～410037 の受験生
		13:30～15:00	410001～410020 の受験生
			810001～810010 の受験生

8月	6日	オンライン接続試験	10:00～12:30	すべての受験生
			13:30～15:00	すべての受験生
8月	7日	オンライン接続試験（予備日；実施しない場合あり）	10:00～12:30	すべての受験生
			13:30～15:00	すべての受験生

オンライン口述試験は3日間に分けて行われますが、参加する必要がある時間帯は受験生毎に異なり、別途8月5日までに email で通知されます。8月5日までに連絡が届かない場合には入試委員まで至急連絡してください。原則としてオンライン口述試験 I で1回（待ち時間を含め1～2時間以内を想定）、オンライン口述試験 I I（1回あたり待ち時間を含め0.5～3時間以内を想定）で2回接続して頂きます。

8月	11日	オンライン口述試験 I	11:00～18:00	受験生毎に時間帯は異なる
8月	12日	オンライン口述試験 I I（前半）	9:00～18:00	受験生毎に時間帯は異なる
8月	13日	オンライン口述試験 I I（後半）	9:00～15:00	受験生毎に時間帯は異なる

### 3. オンライン口述試験の受験に必要な場所

オンライン口述試験を受験するため、受験中に受験生本人のみが専有して利用でき、第三者が立ち入らない静謐な部屋を用意してください。また、受験に使用する部屋からはインターネット接続が安定して利用できる必要があります。オンライン口述試験を受験するための部屋としては、自宅中の一室を利用することを推奨しますが、それ以外の部屋を利用することも可能です。詳しくは「付録：オンライン口述試験に利用できる場所の例」をご覧ください。なお、接続試験ではこの条件を満たす必要はありません。

### 4. オンライン口述試験の受験に必要な設備等

オンライン口述試験を受験するために以下の設備等を用意して下さい。

#### ・ パーソナルコンピュータ

デスクトップ／ラップトップの別を問いません。Zoom が利用出来るスペックであること。Zoom が要求する仕様の詳細については以下の URL を参照のこと。（<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>）

メディカルサイエンス群・医療イノベーションコースの受験生は、パーソ

ナルコンピュータをどうしても用意することができない場合には Zoom の利用ができるタブレットを用いることもできます。この場合、以下の「パーソナルコンピュータ」はタブレットと読み替えてください。情報生命科学群ではタブレットの利用はできません。また、全ての群・コースにおいて、スマートフォンを用いた Zoom 接続で受験することはできません。

- ・ Web カメラ

パーソナルコンピュータには Web カメラが接続あるいは内蔵されていること。Web カメラは 360 度回転させることができること。たとえば、ノートパソコン内蔵カメラの場合にはノートパソコンを 360 度回転させて周囲の環境確認を行います。

Web カメラの解像度が 720p あるいはそれ以上であること。また、情報生命科学群を受験する場合には、紙を撮影して書かれた文字や図形を撮影することができる機能を有すること。条件を満たすカメラを搭載したスマートフォン等をパーソナルコンピュータに接続して Web カメラとして扱うことは構いませんが、利用方法についてのサポートは行いません。

- ・ インターネット接続

安定してインターネットに接続し通信が行えること。Zoom を用いた音声・映像の接続がなめらかであること。必須ではありませんが、光ファイバーや ADSL を用いた接続方法を推奨します。また、必須ではありませんが有線 LAN を用いた接続方法を推奨します。オンライン口述試験中に接続が切れた場合には採点上不利な扱いを受けることがありますので、Zoom による接続がなるべく切れにくい環境をご用意ください。また、いわゆるモバイル接続では通信帯域が不足することがありますので極力避けてください。

- ・ 机と紙（A4 サイズで 2 枚）および筆記用具（情報生命科学群のみ）

情報生命科学群のオンライン口述試験では、受験生が紙に文字や図形を記述し Web カメラで撮影することがあります。このために紙と筆記用具、机をご用意ください。鉛筆と消しゴムなど、書き直しができる筆記用具をご用意ください。オンライン接続試験でも文字や図形を撮影し、解像度等が適切であるか確認を行います。

## 5. オンライン口述試験の進め方の案内について

オンライン口述試験は群・コースにより異なるやり方・時間帯で進行します。詳細については後日、群・コース毎に案内をお送りします。

6. 問い合わせ連絡先（8 / 10 まで）

【オンライン口述試験に関して】

メディカル情報生命専攻 入試委員 笠原・富田

email: [nyushi-cbms@edu.k.u-tokyo.ac.jp](mailto:nyushi-cbms@edu.k.u-tokyo.ac.jp)

【提出書類等に関して】

新領域創成科学研究科教務チーム

email: [k-kyomu@adm.k.u-tokyo.ac.jp](mailto:k-kyomu@adm.k.u-tokyo.ac.jp)

※ 8月11日以降の当日連絡先については受験生毎に email で案内を送りします。

## 付録：オンライン口述試験に利用できる場所の例

### 基本的な考え方

オンライン口述試験ではインターネット回線を利用して口述試験を行いますので、従来型の試験と比べると受験する場所の自由度は高くなります。しかし、受験生間の公平性を保ち、試験官と受験生が円滑に会話を行うためには一定の条件を満たす場所を受験生に用意して頂く必要があります。たとえば、受験生以外の第三者が立ち入る可能性が高い部屋は不適切ですし、BGMが流れている店舗なども適切ではない可能性が高いと言えます。また、極めて狭い部屋や、障害物が多くカメラからの死角が多い部屋も第三者の不在を確認することが難しいため避けるべきです。

どのような場所は受験に適した場所であるか、あるいは、どのような場所は受験に適さない場所であるか全て網羅的に示すことは難しいと考えられますが、いくつかの例を以下に示します。これらは例示であり、「利用出来る」とされた場所であっても上記の考え方に照らして不適切であることもあり得ます。また、「利用出来ない」とされている場所でも上記の考え方に照らして適切であるような例もあり得ます。受験場所に関して適否が分からない場合には本専攻の入試委員までご連絡ください。

### 利用出来る場所の例（試験時間中に受験者以外が入らないこと）

- ・自宅の自室
- ・ビジネスホテルの一室
- ・貸し会議室
- ・寮やシェアハウスの自室
- ・音楽練習用のスタジオ

### 利用出来ない場所の例

- ・公園など屋外
- ・カフェやレストランなどの第三者が立ち入る可能性がある店舗
- ・カラオケルーム
- ・コワーキングスペースの共有スペース
- ・車内
- ・押し入れや物置など、周辺に第三者が居ないことの確認が難しい場所